

米国 内外需要の鈍化と価格低下により大幅減少（08年8月製造業受注）

発表日：2008年10月3日（金）

～09年1-3月期にかけて前期比マイナスが続く公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

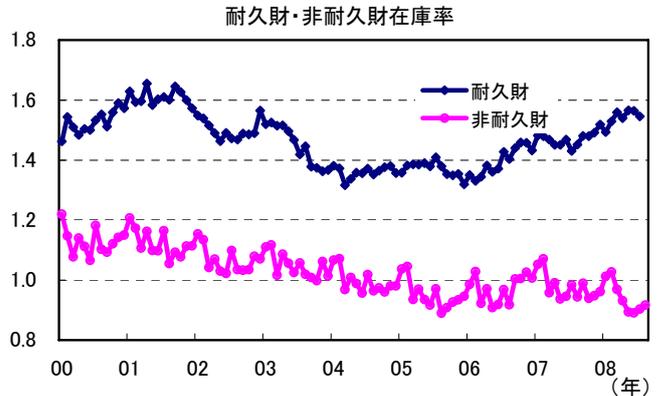
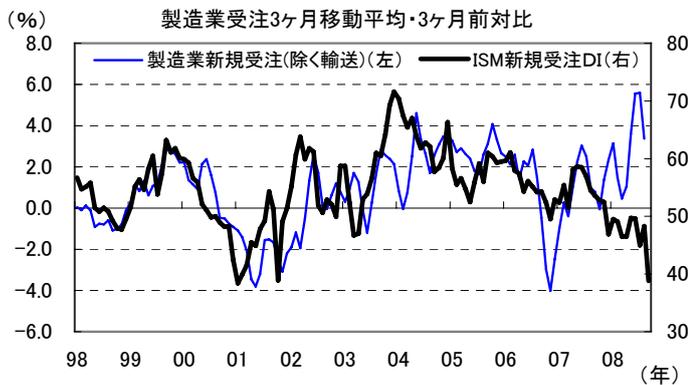
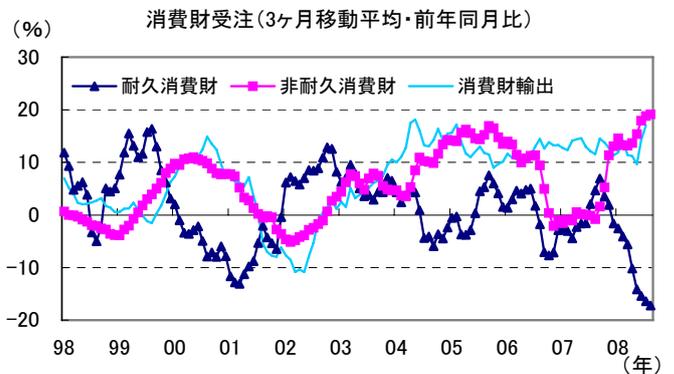
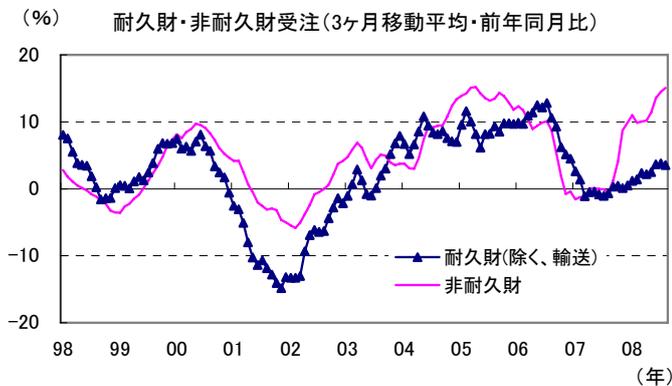
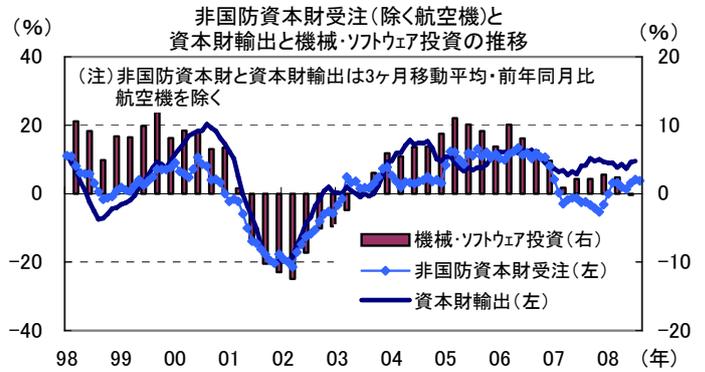
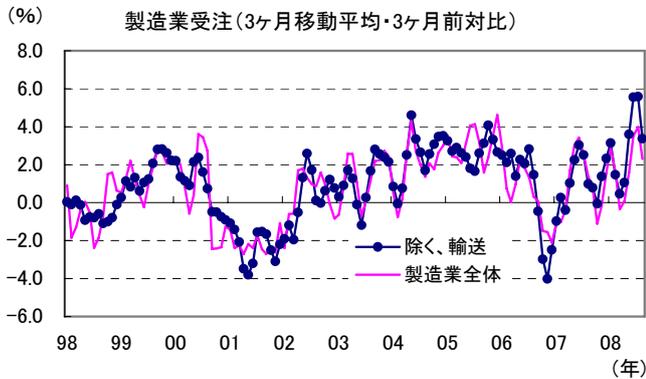
- 8月の製造業受注は前月比▲4.0%（前年同月比+4.2%）と、世界的な景気減速による内外需要の鈍化とエネルギー、資源価格が下落に転じたことをうけ失速し、市場予想の同▲1.8%も大幅に下回った。変動の大きい輸送機器を除くと、同▲3.3%（同+8.4%）と失速し、01年9月以来のマイナス幅となった。耐久財、非耐久財の分類でみると、耐久財は前月比▲4.8%（前年同月比▲5.2%）と低迷の続く輸送機器をはじめ、コンピュータ・電子製品を除く各分野で前月比マイナスに転じ、前月同+0.7%（同▲4.9%）から大幅に減速した。非耐久財も同▲3.3%（同+14.0%）と前月同+0.8%（同+15.2%）から大幅なマイナスに転じた。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比▲2.4%（前年同月比+1.5%）と前月同+0.3%（同+4.3%）から大幅に失速した。世界的な景気減速感の強まりによる輸出需要の減速と企業のマインド悪化から設備投資が抑制されているとみられるが、10-12月期にかけて、設備投資に対する減税が期限を迎えることから、駆け込み需要による下支えが期待される。
- 耐久財受注を財別にみると、一次金属が前月比▲9.6%（前月比同+2.9%）、加工金属が同▲0.8%（同+0.7%）、機械が同▲6.6%（同+3.8%）とマイナスに転じた。世界的な景気の悪化による内外需要の鈍化と、一次製品の価格低下により一次金属、加工金属、機械の受注額は大幅に低下した。電気器具・部品は同▲3.0%（同▲8.3%）と2ヶ月連続でマイナスとなった。電子製品は同+2.0%（同▲4.5%）と前月からプラスに転じたが、前月の大幅減の反動とみられる。輸送機器は同▲9.1%（同+2.7%）と、燃料高による航空機受注の減少とガソリン価格高騰、雇用環境悪化による自動車販売の低迷により大幅減速が続いている。
- 今後の製造業受注だが、10-12月期にかけては世界的な景気減速による海外需要の減速と、金融システム不安による金融機関の融資基準の厳格化、雇用環境の悪化による国内需要の減速を背景に下押し圧力が強まっており、08年中の投資に対する減税の効果は限定的とみられる。また、9月のISM製造業景況感指数の新規受注が38.3（前月48.3）と大幅に悪化、同輸出受注も52.0（前月57.0）と低下しており、製造業受注は前期比でマイナスとなる公算が大きい。09年1-3月期は金融機関の融資基準の厳格化には歯止めがかかるとみられるが、その効果は限定的で、08年末の設備投資の駆け込み需要の反動減と世界的な景気停滞により、前期比でマイナスが予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財		製造業	非国防資本財	
		除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機		除く輸送機器	除く航空機			
07/09	▲0.3	+0.2	+1.2	▲0.3	(▲0.8)	+0.4	(+2.8)	▲0.2	(▲6.2)	+0.8	+0.8	+0.6
07/10	+1.3	+1.4	▲1.6	+1.1	(+5.3)	+1.2	(+5.3)	▲2.2	(▲4.7)	+0.1	+0.1	+0.8
07/11	+1.9	+2.2	+0.6	+1.8	(+5.3)	+1.9	(+6.9)	+0.0	(▲5.0)	+0.7	+0.5	+0.5
07/12	▲0.6	▲0.4	+1.1	+1.9	(+5.7)	+0.6	(+5.4)	+4.5	(+0.2)	+0.8	+0.5	+0.4
08/01	+1.1	+0.7	▲0.4	▲2.4	(+7.3)	▲0.4	(+8.1)	▲0.8	(+5.0)	+1.3	+1.3	+0.5
08/02	▲1.9	▲1.6	▲1.3	▲0.4	(+5.1)	▲1.6	(+5.3)	▲0.9	(+4.5)	+0.6	+0.5	+0.6
08/03	+1.1	+1.9	+0.8	+1.5	(+4.2)	+2.6	(+6.9)	▲1.0	(+0.1)	+0.9	+0.8	+1.3
08/04	+2.7	+2.9	+1.0	+1.3	(+4.0)	+2.8	(+8.1)	+3.1	(+1.3)	▲0.0	▲0.2	+0.4
08/05	+0.3	+0.9	+0.2	+0.9	(+5.4)	+0.8	(+7.9)	▲0.3	(+2.5)	+0.6	+0.5	+0.1
08/06	+1.9	+1.9	+0.6	+2.1	(+7.5)	+2.7	(+12.1)	+1.6	(+5.5)	+1.2	+1.3	+0.5
08/07	+1.4	+1.3	+0.3	+0.7	(+4.7)	+0.5	(+10.0)	+0.3	(+4.3)	+0.6	+0.5	+0.6
08/08	▲3.5	▲2.9	▲2.1	▲4.0	(+4.2)	▲3.3	(+8.4)	▲2.4	(+1.5)	+0.6	+0.6	+0.6

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。